

柘植地域

まちづくりだより

第228号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

電話 四五一八八〇 FAX 四五八八八三
千五二九一四〇二

発行日

二〇一九(平成三十一)年二月一日(金)

柘植地域俳句コーナー

ほろ酔いで

地下街出れば

春の月

中嶋國博

保育園見とお正月遊び

教育ボランティア

1月16日(水)午前、柘植保育園で10名の教育ボランティアメンバーが園児たちとお正月遊びを楽しみました。

こま、けん玉、羽根つき、すごろく、かるたなど、子どもたちの歓声に、ボランティアも自然と笑顔になって、いきいきと交流できました。

また手作りの大型紙芝居では、子どもたちが一つひとつの展開にワクワクしながら見入ってくれました。

ますます少子化の時代となります。柘植の子どもたちの健やかな成長の手助けとして、都合のつく方のご協力をお願いします。



募集

「地元の保育園や小中学校の活動に協力する教育ボランティア」を募集しています。



12月28日から3日間にわたり、消防団による年末夜警が良き伝統として行われています。

年越しの寒い時期、決して火事を出すことなく誰もが新年を迎えるために、住民の生命や財産を守るべく消防団員の皆さんが夜警(パトロール等)を行っています。

伊賀支所管内の団員が伊賀支所前に集まった初日28日の式典では、柘植地域まち協の半田会長が3地域を代表して、激励を行いました。



年末夜警にあたる消防団員に、まち協会長が激励

柘植地域俳句コーナー
群雀

背戸の初日の

なかにもし

藤井千恵子

新成人おめでとう

1月13日(日)午後、ふるさと会館
いがにおいて、柘植・霊峰校区成人式
が執り行われました。柘植中校区参加
者24名は笑顔で旧交を温めていました。



「合併特例債活用延長で 伊賀市の一体感を高めます」

市の資料によれば・・・、
本計画は「現在2020年3月31
日までの計画として」、「合併特例債活
用のための根拠計画としての運用にと
どまっている」のですが、法改正によ
り「合併特例債の活用がさらに5年間
延長できることになり」、「本市におい
ても、伊賀市の一体感を更に高めてい
くため、有利な財源である合併特例債
の活用根拠となる新市建設計画を延長
するもの」と説明されています。

伊賀市まちづくりプラン(新市建設計画) ってご存知ですか？



1月23日(水)午後、伊賀支
所にて伊賀住民自治地区連合会
の場(写真)で企画振興部から
説明を受けました。

※会議の容については後日、
市HPで公開される予定です。

すでに各組等で回覧されていますが、
2月7日(木)午後7時から、いがま
ち公民館ホールにてタウンミーテング
が予定されています。

詳細は、柘植まち協の
HPにも「お知らせ」で
市のチラシを転載して
おりますのでご覧ください。



ヘルプマークを知っていますか？ 援助が必要な方のためのマークです。

外見から分からなくても援助や配慮が必要な方が
います。このマークを見かけたら、困っているよう
であれば声をかける等、思いやりのある行動を願
いします。

(お使いになれる方) 義足や人工関節を使用してい
る方、内部障がいや難病の方など外見から
わからなくても、外出先や避難先で周囲か
らの援助や配慮を必要としている方々



配布場所・お問い合わせ

伊賀市障がい福祉課(22-9657) ----->
三重県伊賀保健所保健衛生室 0595-24-8070



基
障
事
つ
障
き
が
い
福
祉
課
の
依
頼
に
参
考
に
作
り
ま
し
た。



ストラップタイプ(左)

カードタイプ(上)

2018年9月実施

防災アンケートの結果を報告します！

区長様を通じて、10月7日の合同訓練に先立ち柘植地域内の1086世帯に配付。そのうち717世帯から回答を頂きました。その一部を紹介します。

回収率
約66%

訓練参加率は高い！

過去3年の合同防災訓練への参加

毎回参加65% 2回10%、1回13%、0回10%

家族の安否確認手段

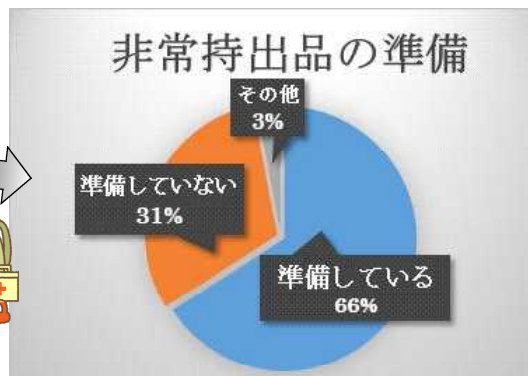
家族内で安否確認手段を決めているのは76%

非常持出品の準備率

66%が準備している
31%が準備していない

備蓄品の準備率

66%が水を備蓄
41%が食料を備蓄
17%が衣類を備蓄



ローリングストック法でいざというときに備えよう！

ローリングストック法
ローリングストック法ならば、普段から食べられた食品を「非常食」にすることができます。

- 1 備蓄する食料・水を少し多めに用意する。
- 2 定期的に古いものから順に食べる。
- 3 食べた分を買い足し補充する。

現住宅が住めない場合の避難先希望

指定避難所30%、区の集議所22%、友人知人宅15%、・・・



どこに行くにしても各区長(防災担当者)には連絡をしましょう！

家具の固定 なんらかの家具を固定している46%
固定していない54%

まずはタンスやテレビ、冷蔵庫の固定が必要です。個人の問題とはいえ、固定率を上げるため、地域による取り組みも必要と考えます。

資機材の保有 バールやスコップ、ストーブはもちろん、建設機械や発電装置、水質検査済みの井戸など、もしものときには、「お互い様」の精神で地域のために協力をお願いいたします。



ボランティア ボランティア経験があると回答された方が60名、また「いざというときにはボランティアに参加可能」と回答された方は100名を超えました。



※※ペット同行について※※



連れていく(同行)かどうか？
また、そのための準備ができているか？を尋ねました。

柘植地域内で少なくとも180世帯がペットを飼っており、そのうち、53%の方が避難所に同行避難するつもりであると回答されました。

ペットの問題は今後の大きな課題です。今回の結果をふまえていく検討していきます。

詳しいデータについて

アンケートの詳細は、まち協ホームページからダウンロードしていただけます(下のQRコードからどうぞ)

また、素データ(数値等)は各区に紙ベースで配付済みです。



北川美晃さん ふるさと会館いがで 演奏を披露



柘植出身(小林区)のピアニスト北川美晃さんと壬生野出身の今野尚美さんによるコンサートが新年1月6日、ふるさと会館が大ホールでありました。昨年9月30日の予定が台風24号の影響で延期されたの開催。ほぼ満席の550人がソロ演奏や息の合った連弾に聞き入りました。

2人とも幼少期からピアノに親しみ、上野高校では同級生という北川さんと今野さん。同校OBでテノール歌手の波多野均さん(名張市在住)との共演もあり、観客席からは大きな拍手が送られました。

曲間には「ふるさとがあるから頑張れます!」と笑顔を見せた今野さん。アンコールでは市民らでつくる特別合唱団と「ふる

さと」を披露。約25年間のふるさと会館大ホールのステージに歴史を刻んでくださいました。

本イベントには、存続を願う地域住民の声も受け、3地域のまちづくり協議会も協力いたしました。

ふるさと会館大ホールの今後については、伊賀市より次のような募集が2018年12月26日付で市HPに掲載されています。以下、転載いたします。

ふるさと会館いが大ホールの

運営者募集について

ふるさと会館いが大ホールは、伊賀市公共施設最適化計画に基づき行政が運営する施設からは除外され、大ホール以外の他施設については、公民館等の複合施設に改修を行う予定です。大ホールは施設としては残るものの閉鎖施設となります。しかし、大ホールの継続を求める市民の声もあることから、民間企業、団体等によるホール運営を可能とすることとしています。施設借用によるホール運営の意向をお持ちの方は平成31年3月31日までにご連絡ください。



◎問い合わせ先◎

企画振興部 文化交流課

0595-22-9621

伊賀支所振興課 0595-45-9108



★★★事務局だより★★★



▼いぬ年からのしし年へ。1月1日は、霊山保勝会・西柘植まちづくり協議会による「霊山初詣登山大会」に参加。山頂付近は雪景色でしたが、雲ひとつない快晴で初日の出を拝むことができました。▼10日、斎王についての話し合い。今後、



有志により身の丈にあった取り組みを進める方向性を確認しました。▼11日、トレイルランニングのボランティア反省会。レース発着点であるさるびの温泉で阿波地域の関係者と交流。地域振興のため協力関係を強めることができました。▼17日、上町下町中央近の通学路について市や学校を含めた現地調査。22日には県・市を交えて柘植駅前県道の現地調査実施(上写真)。

▼今年も柘植地域の為に努力していきます。(西田方計)



今号に、イノシシは何匹いるかな?



『まちづくりだより』のバックナンバーは、QRコードで読み取ってご覧いただけます。

あるいは、「柘植地域まちづくり協議会」で検索を!

